阿蘇地域振興デザインセンター情報誌

aso lulu【アソルル】

lulu（ルル）＝素晴しい魅力という意味。

since 2012

vol.22
2022
FREE



ASO DESIGN CENTER

つながる阿蘇 ASO RELATION

あそ未来創造塾



2021年6月時点の阿蘇市、産山村、小国町、南小国町、高森町、南阿蘇村、西原村の阿蘇郡7市町村と、上益城郡山都町を合計した人口は60,797人。RESAS（地域経済分析システム）による人口推移を見ると、2015年から2045年の期間に阿蘇地域（山都町含む）の人口は79,736人から49,155人と30,381人減少する予測となっていて人口減少社会が大きな課題となっています。
そこで、公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンターは、熊本大学熊本創生推進機構と連携し、人口減少社会にコミットするローカルイノベーター育成塾「あそ未来創造塾」を開講しました。第1期生には各市町村から志を抱いた11名が受講、熊本大学熊本創生推進機構の金岡省吾教授の講義を中心に、地方創生の目的、人口減少のメカニズム、超高齢化社会のビジネス、CSV（共通価値の創造）、コミュニティー、子育て世代とビジネスについての講義があり、各地の地域に根差したビジネスの実例について学びました。講義7回、演習3回を経て修了式を迎え、塾生はそれぞれのビジネスプランを発表し、プランの実行にむけて動き始めました。









あそ未来創造塾とは

あそ未来創造塾は、地域活性化人材の発見と育成を目的に、特色ある阿蘇の地域資源や人材を活用しながら、新しいビジネスプランの構築と実践の両立を目指します。阿蘇地域の志を持った人々が、様々なカリキュラムを通じて大学や専門家、行政が夢の実現に向けてサポートします。



2021年度
第1期生塾生紹介
あそ未来創造塾第1期を終えて

テーマ
- 地域イノベーション
- 地域に生きる格好いい大人の発見と育成
- 一度阿蘇を離れた子どもたちが帰ってきたくなる環境の創出

南小国町

「地熱珈琲 Roasted in 小国郷」

入塾と同時期に新事業を始めようとしており半年間の講座と並行してインプット・アウトプットをしながら準備が進められたことで事業の方向性の軸をしっかり固めることができました。地方創生やソーシャルビジネスなど、課題のレベルの高さに時々苦戦もしましたが、これからの地域におけるビジネスに必要不可欠なものの考え方や価値観を重点的に学べたのは他の塾との大きな違いであったと感じます。今後、実際に事業をスタートするにあたり、阿蘇地域に同じ志の仲間がいることはとても心強く、それぞれの地域での活動（点）を確立しつつ、それらを結んで線となり面となって、阿蘇地域全体を盛り上げるチームができた事は何よりの財産です。



（株）SMO南小国
山本 美奈子さん

山都町

「帰りたい戻りたい街へ」

元々地方創生には興味がなかったのですが仕事の現場で感じる課題と生活の中で感じる課題が混じり合い徐々に地方創生の重要性に気づきはじめました。私はソフト面の方からの強化が急務だと思い、全く新しい組織づくりを進めてきましたが、あそ未来創造塾での金岡先生をはじめ、スピーカーの方や関係者の皆さんとのディスカッションの中で、今の私の取り組みに自信を持ち、意味のある事だと知りました。この塾を通して私の表現したかった事が具体的に表現できるようになり、それが楽しくもあり、これからの繋がりの可能性を感じられました。ありがとうございました!



（有）工藤石油
工藤 知保さん

阿蘇地域観光
地域リーダー養成講座



「マーケティングに関する基礎を学び、課題解決へのアプローチや商品づくりの考え方を理解」、「自らの地域課題解決に向けた企画作成能力やプレゼンテーション能力の向上」を目的とした講座を計7回開催いたしました。阿蘇地域から10名が受講し、講師の指導のもと、マーケティング調査を行い地域課題の抽出や課題解決のための打開策を企画いたしました。また、12月8日にはプロジェクト発表会を開催。受講者が企画したプロジェクトを発表し、3名が表彰されました。

【令和3年度 地域づくり夢チャレンジ推進補助金を活用】



最優秀賞　「来てみてはいよ、西原村！
食べてみてはいよ、シルクスイート！」
白木里奈さん（西原村観光協会）

優秀賞　「マスク時代の美肌計画！
（蒸し湯とお米のパワーで叶える美肌づくり）」
三浦めぐみさん（ASOおぐに観光協会）

奨励賞　「地域の恵み・地熱活用による商品化
～Dried fruit～（マグマフルーツ）」
北里隼人さん（学びやの里 木魂館）





素敵女子のおしゃべり時間

～「つながる」ともっと楽しい！わたしの趣味・特技～



「素敵女子」とは素敵な活動をされている女子のことです。女性が持つ資質を観光地域づくりの場で活かすことができるよう、地域で活動している女性のネットワークづくりを支援するため、大正大学教授の柏木千春氏を講師に招き、地域の未来を語る女子会を開催しました。女性のリーダーは細やかな配慮やカリスマ性があり、変革型リーダーシップの資質を持っています。また、女性は旅行への関心が高いです。これからの観光地域づくり法人は経験的なアプローチから科学的なアプローチへの変換が求められます。女性の持つ資質を活かすために社会での女性の発言機会の創出、ネットワーク化などの支援育成が必要なことから、地域づくりにご自身の特技・趣味・志向などを活かして活動されている方をゲストスピーカーとしてお迎えし、参加者でわいわい語り合うきっかけ作りを行いました。
参加者からは、「地域内で活動されている方々を知ることができ有意義であった」、「業種を超えた情報交換ができてよかった」、「これからも続けて欲しい」といった意見が出ました。今後は、より大きくより深い商品開発等に繋げていきたいと思います。





ASOロゲイニング 2021 in 南阿蘇・高森



2021年11月13日(土)に、第3回大会となる「ASOロゲイニング2021 in 南阿蘇・高森」が開催しました。県内外から親子連れを含めて250名(99チーム)の方にご参加いただき、過去最大の大会となりました。南阿蘇村の白水庁舎横駐車場をメイン会場とし、南阿蘇村、高森町内の山頂、水源、神社、観光スポット等115地点のチェックポイントを目指しました。

今回のロゲイニングでは、南阿蘇鉄道にご後援いただき、トロッコ列車を移動手段として利用することが可能だったので、選択できる戦略の幅が広がったのではないでしょうか。

本大会では一般の部及びファミリーの部の2部門を開催しており、上位3チームにはあか牛やお米を贈呈いたしました。また参加賞として西原村のシルクスイート、山都町のみさお大豆水煮をお持ち帰りいただきました。

今後も阿蘇の魅力を満喫できるロゲイニング大会を開催する予定です。















ASOロゲイニングとは?

決められたエリア内のチェックポイントを、チームごとに自由なコースで回り、合計ポイントを競うスポーツです。体を動かしながら大自然に触れ、観光も楽しめる新感覚アクティビティーです。

参加者感想

マサノリさん

初めてロゲイニングに参加してきました。当日は天気に恵まれて絶好のロゲイニング日和。南阿蘇は何回か訪れてますが有名な観光スポット以外を徒歩でゆっくり回れたので新たな発見がありました。今回乗れなかったトロッコ列車や行けなかったスポットを今度は観光で訪れたいと思います。



YOUさん

自分にとっては毎年恒例イベントとして、今年も阿蘇のロゲイニングに参加してきました。水源巡りをテーマにしようと決め込み、まとまり感で勝つことに。小池水源は透明度の高い水の中に森があるような、まるでジブリの世界で、水の国と言われるのも納得です。美しい阿蘇を満喫できた最高の1日となりました。



daisuke hizumさん

去年よりも参加者が多くて賑やか。雨も降らず時折晴れ間もあり天候も良い感じで最高です。今回も緩い感じで、観光しつつスポットめぐり。南阿蘇の広大な景色や、情緒ある街並み、美しい観光スポット、美味しいグルメ。最高に癒された日になりました。スタッフの皆さま、素敵な催しを今年もありがとうございました!



令和3年度 第1回 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議

女性のチカラ ～市場を拓く、地域を変える～







令和3年7月7日　講師:大正大学教授 柏木 千春

観光の現場では女性が活躍する場面は多いですが、意思決定の場に参画はまだまだ少ない傾向にあるといわれています。しかし、観光に関するデータ(旅行消費額等)から、女性は男性よりも観光を目的とした旅行市場を創造していることがわかります。そのため、マーケティング的にも女性に寄り添ったアプローチが大いに期待されます。また、女性のリーダーは男性よりもカリスマ性や個別の配慮があり変革型リーダーとして資質を持っているのも特徴です。セミナーでは、観光地域づくりで輝く女性の事例として、長野県佐久市の田澤まりか氏(KURABITO STAY)、和歌山県田辺市の多田稔子氏(熊野ツーリズムビューロ)の紹介があり女性の視点で仕掛ける様々な活動が紹介されました。阿蘇の観光においても、これまで以上に「女性のチカラ」が光るまちづくり、観光地域づくりを期待したいものです。

第1回 地域づくりセミナー

地方創生 人口減少の歯止めのための地域づくりを学ぶセミナー







令和3年7月14日、第1回地域づくりセミナー「地方創生 人口減少の歯止めのための地域づくり」を開催し講師に熊本大学熊本創生推進機構の金岡省吾教授をお迎えしました。金岡教授は地域課題をビジネスで解決するCSV創出塾のシステムを開発し、2016年には田辺市、2020年から八代市、2021年から阿蘇、天草、玉名で塾を展開中で、地域づくりに大切な「人」と「ビジネス」を中心とした講義がありました。『地方創生とは人口減少を止めることである。』『進学や就職で若者が都市部へ流出、若者が戻ってこない理由は仕事がないから。』『地方は都市とは異なる魅力を考えなければならない。そこに暮らす人たちが産学金と連携し、地域の課題を新たなビジネスとする雇用の場を創出すること。』など、阿蘇に置き換えても様々な地域で抱える問題や解決策を学ぶセミナーとなりました。

第2回 地域づくりセミナー

過疎に打ち克つ ～都市にはない価値を求めて～







令和4年3月11日、前総務省過疎問題懇談会座長であり、早稲田大学名誉教授の宮口侗廸先生を講師に第2回地域づくりセミナーを開催。宮口先生は、1960年代に都市の産業が急成長、地方の後継者である若者が都市へ流れ、戻らなくなったこと、これが過疎問題の社会的本質である。過疎対策として1970年に過疎法制定、生活基盤の格差是正が進む。その後過疎法は「人材の確保・育成」が記述され、移住・定住、地域間交流の促進などが強調された。日本の農村は極めて高い価値を持つ暮らしの場として、過疎に打ち克つために都市にはない価値を築く、これは国際的な取組みのSDGS「持続可能な地域づくり」であることなどを話されました。参加者からは、「過疎法の流れが勉強になった」「農村生活の楽しさをもっとPRしたい」などの感想が聞かれました。

第3回
ASOへ行こう!
ASOに住もう!フェア

日時:2021年10月16日(土)10:00～16:30
場所:木の葉モール橋本





阿蘇地域に移住をお考えの方や阿蘇地域に興味を持たれている方等を対象に福岡市西区にある「木の葉モール橋本」で、移住相談や観光情報PRを行いました。会場では、自治体職員やスタッフが自治体の取組や支援内容等を説明しながら、相談者に情報提供を行いました。
新型コロナウイルス感染症感染拡大により新しい働き方として、都市圏に立地する企業などに勤めたまま地方に移住して仕事をする「地方創生テレワーク(転職なき移住)」や現在地方に移住する優秀な人材の採用(移住なき転職)を推進している企業が増えております。今後も適切な情報を行うとともに、受け入れ体制の整備にも力を入れていきたいと思います。

第1回
日本観光ショーケース
in大阪・関西で阿蘇をPR!



令和4年3月25日から28日までの3日間、大阪市のインテックス大阪において「第1回 日本観光ショーケース in 大阪・関西」が開催されました。このイベントは旅の力で日本元気づけようと日本観光に絞り、国内外に日本観光の情報や魅力を発信し、観光産業の活性化を目的に今年初めて開催された祭典で、当財団もブースを設置し阿蘇地域のPRを行いました。コロナ禍でも楽しめる阿蘇地域の体験や観光情報などを、現在旅行を計画されている方や感染状況が落ち着いたら旅行したい方に発信することができました。



阿蘇DCオリジナル動画配信中!

シンガーソングライター進藤久明さんによる
阿蘇の紹介動画!

ASOエール旅

進藤久明チャンネル 検索

ASOエール旅は、阿蘇地域のコロナ感染対策安全宣言PR事業として、熊本県のガイドラインに基づいて感染症対策を行っている阿蘇地域の飲食店に安心してお越しいただくため、シンガーソングライターの進藤久明氏(合同会社にぎわい屋)に商工会や観光協会に紹介いただいた阿蘇の飲食店を対象に、阿蘇の元気な人・地域を紹介する動画です。また併せて、各店舗の地元に愛された一品やオススメの一品の紹介や近隣の観光スポットの紹介も行っておりますので、是非ご覧ください。







ドローンで阿蘇の農業遺産を体験

阿蘇のフットパス動画

GIAHS ASO 検索

阿蘇の農業遺産を体験できるフットパスコースを活用し、コロナ禍で阿蘇を訪れることができない人たちが、自宅等でもフットパスコースの魅力を実感できるよう、ドローン等を用いたコースの紹介動画を作成いたしました。
※阿蘇地域世界農業遺産推進協会と共同制作



阿蘇くじゅう観光圏動画
「まだ知らない、知られてないASO」を360°VRで体験!

まだ知らない、知られてないASO 検索

阿蘇地域に大分県竹田市、宮崎県高千穂町を加えた阿蘇くじゅう観光圏の観光動画を制作しました。高森町を拠点に活動している096k熊本歌劇団の協力を得て「女子旅」をテーマに、自然景色だけではなく、食事処や甘味処、アクティビティ体験、温泉や穴場スポットを撮影し、紹介しています。動画は360度カメラで撮影しているため、視聴者が観る方向を変えながら楽しむことができます。観光圏内の魅力的な22本の動画のうち、いくつかの動画は閲覧数が日増しに増えています。阿蘇DCでは、今後も動画やSNS等を利用し、地域の魅力や情報を発信していきます。









《制作:KYOTO's 3D STUDIO Inc.》

令和3年度 阿蘇地域元気再生支援事業

阿蘇地域元気再生支援事業とは…

阿蘇地域振興デザインセンターでは、その地域独自の資源を活かした取組みや、伝統行事再生に向けた試み、地域に根差したイベントの実施、熊本地震からの復興に向けた活動、新型コロナウイルス感染症対策など、魅力ある地域づくりと地域の活性化を図ることを目的とした事業に対して助成を行っています。



① 阿蘇市

田子山再開発プロジェクト

事業実施主体／内牧温泉街繋栄会
会表 中村 洋史
実施場所／阿蘇市三久保
期日／2022年1月15日～3月31日



田子山の環境整備として、来訪者の安全性を図るため、車道ルートの段差解消及びカーブミラーの設置等の改良、遊歩道ルートの一部崩落個所の補修を行った。

② 南小国町

黒川温泉60周年・湯あかり10周年を契機とした観光地域づくり事業

事業実施主体／南小国町観光協会 会長 平野 直紀
実施場所／阿蘇郡南小国町一帯
期日／2021年5月1日～2022年2月28日

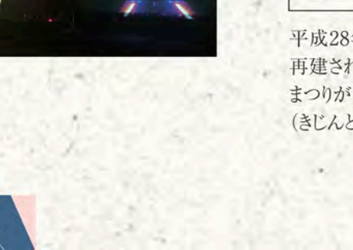


黒川温泉観光旅館協同組合の60周年記念式典に併せて、70周年に向けて何に取り組み、どう在りたいかのビジョンを示すインフォグラフィック「ポストコロナの黒川温泉-60th　anniversary-」を作成。また湯あかりが10年目となり、地域住民への浸透及び関係人口の拡大を目的に事業を実施。

③ 小国町

小国高等学校キャリア教育推進事業

事業実施主体／小国町（小国高等学校キャリア教育推進協議会）
町長 渡邉 誠次
実施場所／小国高等学校体育館
期日／2022年3月1日～3月31日



小国町・南小国町・小国高等学校が連携し、将来の地域づくりのための人材育成を目的として、大隈塾（早稲田大学による講義）を2日間開催。

④ 産山村

池山水源ライトアップ事業

事業実施主体／産山村観光協会 会長 井 龍次
実施場所／池山水源
期日／2021年4月17日～11月14日



産山村の観光スポットで入込客数の特に多い池山水源において、新型コロナウイルス感染症により減少した観光客の入込数の回復と、産山村内への宿泊客数の増加、周辺観光地からの誘客を目的に夜間のライトアップを実施。

⑤ 高森町

熊本吹奏楽大演奏会 in 高森

事業実施主体／
高森町役場 町長 草村 大成
実施場所／高森観光交流センター
期日／2021年11月13日

新型コロナウイルス感染症の影響により演奏会等の演奏の機会を奪われた生徒の演奏披露機会の創出と、営業の自粛等やイベントの中止等により多大な経済的被害を受ける飲食店等の需要喚起を目的としたイベントの開催。



⑥ 南阿蘇村

福運三社参り活動促進事業

事業実施主体／一番街商店街 代表 佐藤 只之
実施場所／一番街商店街
期日／2021年12月1日～2022年3月31日



地域住民が協力しながら景観整備やイベントの実施を行っている宮原一番街を散策できるコース、小国両神社、ケヤキ水源、鏡ヶ池を巡る福運三社参りの周知、発展のためパンフレットやマップを作成。



おとなも、こどもも、阿蘇でつながろう。地域の未来を考える。

事業実施主体／一般社団法人
Feel&Sence
橋本 昌彦
実施場所／葉祥明阿蘇高原美術館
期日／2021年8月8日

阿蘇の魅力を体感し、環境やSDGsのことを学びながら大人も子どもも一緒にアートを通じて心を育んでいく取組として、イベントを開催。

小池水源ホタルの里復活事業

事業実施主体／一般社団法人みなみあそ観光局
代表理事 丸野 健一郎
実施場所／小池水源
期日／2022年1月1日～2022年3月15日

地域住民の環境保全活動の成果により、ホタルが観察できる環境となっている小池水源周辺について、小池水源の利用促進を図るため、ホタルの生育およびホタル観察に適した環境整備を実施。

⑦ 西原村

～子供達に思い出と笑顔を～地元西原村で家族みんなで笑顔になろうプロジェクト

事業実施主体／西原村商工会
青年部
坂口 泰弘
実施場所／阿蘇ミルク牧場
期日／2021年9月18日



来場したご家族が車内から花火や映画を鑑賞することで不特定多数の方と接触する機会をなくし、感染リスクを下げることでコロナ禍でも開催できるイベントとして、花火×drive in theaterを開催。

八王社例大祭鬼神どんまつり

事業実施主体／宮山八王社例大祭まつり実行委員会
会長 中村 辰則
実施場所／宮山八王社
期日／2021年11月23日



平成28年熊本地震により倒壊した拝殿が再建されて初めての八王社例大祭鬼神殿まつりが開催。数百年続く神楽の舞「鬼神殿（きじんどん）」の奉納などが行われる。

⑧ 山都町

そよ風パーク コテージリニューアル事業

事業実施主体／エネルギープロダクト株式会社
代表取締役 丸山 一孝
実施場所／そよ風パークコテージ（田舎山荘）
期日／2021年12月3日～2022年2月28日



コロナ禍だからこそ、お客様への安心感、清潔感の提供とともに新生そよ風パークのアピールを目的とし、施設の一部改修を実施。

インスタグラム写真展

今年もInstagramを活用したフォトコンテストを開催しました。SNSを活用することで当財団と来訪者とのつながりだけでなく、来訪者同士がつながることにより関係人口の創出・拡大や新たな観光地の発掘、情報発信を行うことができました。令和3年度は阿蘇の花をテーマにした「あそ花旅2021春」及び「あそ花旅2021秋」、新阿蘇大橋開通に伴う「つながる阿蘇大橋」、近年ブームになっているアウトドアに焦点を当てた「ASO冬キャンプ」の計4回開催しました。また、南阿蘇村在住の写真家長野良市氏に審査していただき、グランプリ賞等を選定。受賞者には阿蘇の産品を贈呈するとともに、阿蘇地域のギャラリーや道の駅のほか、イオンモール熊本にて写真展を開催しました。

あそ花旅2021春

グランプリ賞













あそ花旅2021秋

グランプリ賞



準グランプリ賞




小国町賞


南小国町賞


西原村賞


高森町賞


阿蘇市賞


産山村賞


南阿蘇村賞

つながる阿蘇

グランプリ賞




特別賞


特別賞


特別賞


特別賞


特別賞


特別賞


佳作


佳作


佳作


佳作


佳作

ASO冬キャンプ

グランプリ賞



準グランプリ賞




入賞


入賞


入賞

阿蘇DC2021年度版 発行物の紹介

阿蘇DC内でも配布しています。ご興味のある方は、お気軽にお問合せ下さい。

阿蘇DCでは新たな観光情報や阿蘇の魅力発信のため、パンフレットやマップを作成・配布しています。阿蘇を訪れた人はもちろん、地元の人々にも楽しんでいただける内容です。是非、手に取ってご覧ください。

阿蘇ライドアクティビティマップ

雄大な景色が自慢の阿蘇地域。その阿蘇の大自然を活かし、体験することができるさまざまな乗り物アクティビティを一枚のマップにまとめました。コロナ禍でストレスを抱えることが多くなっている今だからこそ、阿蘇でストレスを発散してみてはいかがでしょうか。



阿蘇カレンダー「Aso sky」

阿蘇のカレンダー「Aso sky」ができました。
新型コロナウイルス感染症や災害などにより気持ちが沈みがちな今だからこそ、上を向いて歩こうという想いを込めて「空」をテーマとした写真を集めた一冊にしました。季節や時間帯により様々な表情を見せる阿蘇の空をお楽しみください。



局長退任の挨拶



（公財）阿蘇地域振興デザインセンター
事務局長　江藤 訓重

北京冬の五輪で、スピードスケートに出場した小平奈緒選手は「成し遂げることは出来なかったが、やり遂げることは出来た」というコメントを遺し、競技場を後にしました。私もデザインセンターの事務局長として、力及ばずながら6年間の任期を無事に終えることが出来ました。
この間は、想定外の出来事に見舞われた期間と言えます。熊本地震、阿蘇山の噴火、水害そして新型コロナウィルス感染による世界的なパンデミックにより、現在も様々な産業分野に多くの影響が続いています。
平成29年度から令和3年度までの中期計画で掲げた「リ・デザイン」すなわち地域を再編集することの重要性を認識出来た期間でもありました。従来のコミュニティが人口減少による担い手不足などで崩壊し始めるなかで、新たな地域ビジネスを核としたコミュニティの造成が望まれています。
中期計画に沿い3つの公益事業を実施するなかで、出会い知り合った方々の思いや夢を紡ぐことで「あそ未来創造塾」や「観光地域づくりリーダー育成講座」そして女性向けのセミナーなどの開催が実現しました。今後は、共有する価値観をより醸成し、さらに活動に変換させ、SDGsの目標のひとつでもある「住み続けられるまち（阿蘇）づくり」を担う持続的な「人材育成」を図ることが重要であると考えます。
様々な社会変動に見舞われたこの6年間。特にコロナ感染拡大を経て、目まぐるしいDX化の動きが顕著に成って来たこともあり、次代を担うZ世代への期待感が高まっています。阿蘇地域でも、組織や団体で、次世代へのバトンタッチが図られつつあります。デザインセンターでも、新事務局長への世代交代が決定し、進化するグローバルな時代に対応できる人材登用が図られたと思います。
最後に、私自身としては、やり遂げることは出来なかったが、やり通すことで、次世代へ繋げることが出来たと振り返っています。
皆さまのこれまでのご支援とご協力に感謝し、今後の阿蘇地域の発展を心からお祈り致します。